

再評価対象事業

社会資本整備総合交付金事業
主要地方道 丸亀詫間豊浜線(多度津西工区)

土木部 道路課

緊急輸送道路ネットワーク

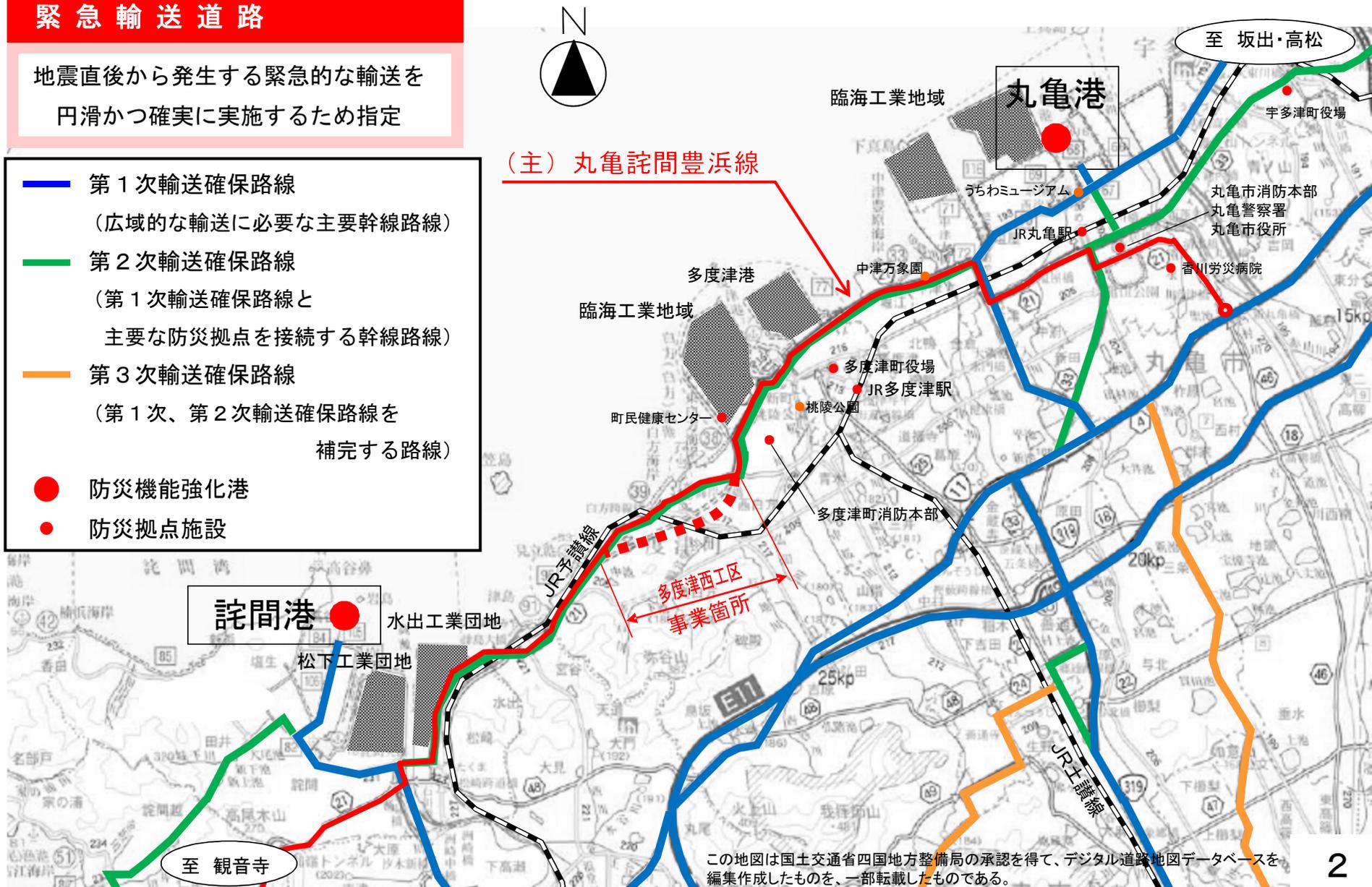
社会資本整備総合交付金事業 主要地方道丸亀詫間豊浜線(多度津西工区)

緊急輸送道路

地震直後から発生する緊急的な輸送を円滑かつ確実に実施するため指定

- 第1次輸送確保路線
(広域的な輸送に必要な主要幹線路線)
- 第2次輸送確保路線
(第1次輸送確保路線と主要な防災拠点とを接続する幹線路線)
- 第3次輸送確保路線
(第1次、第2次輸送確保路線を補完する路線)
- 防災機能強化港
- 防災拠点施設

(主) 丸亀詫間豊浜線



この地図は国土交通省四国地方整備局の承認を得て、デジタル道路地図データベースを編集作成したものを、一部転載したものである。

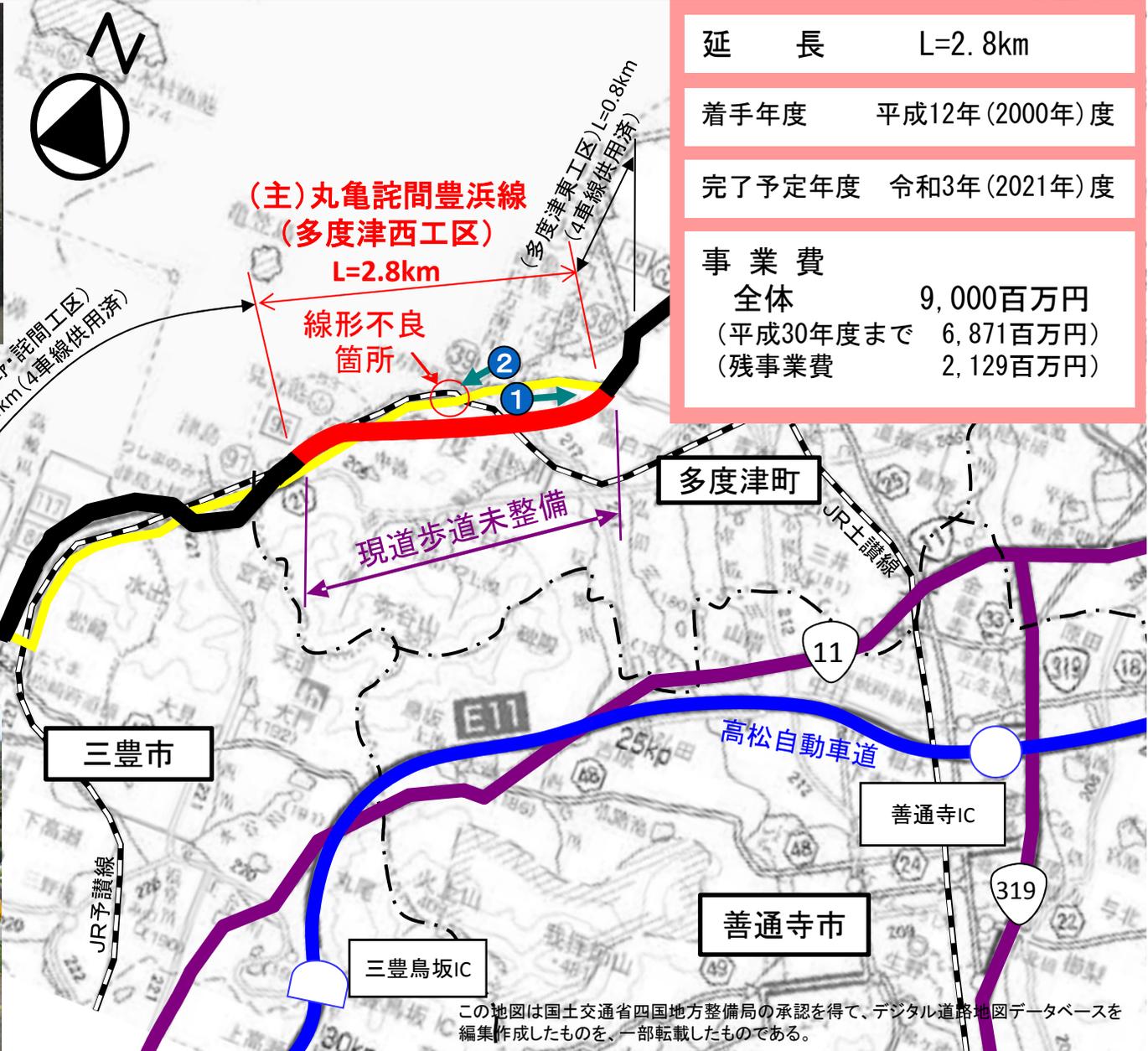
計画図

社会資本整備総合交付金事業 主要地方道丸亀詫間豊浜線(多度津西工区)



1

- 事業箇所
- 整備済み
- 現道



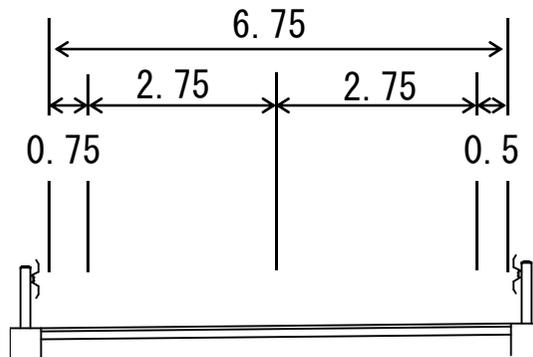
延長	L=2.8km
着手年度	平成12年(2000年)度
完了予定年度	令和3年(2021年)度
事業費 全体	9,000百万円
(平成30年度まで)	6,871百万円
(残事業費)	2,129百万円

この地図は国土交通省四国地方整備局の承認を得て、デジタル道路地図データベースを編集作成したものを、一部転載したものである。

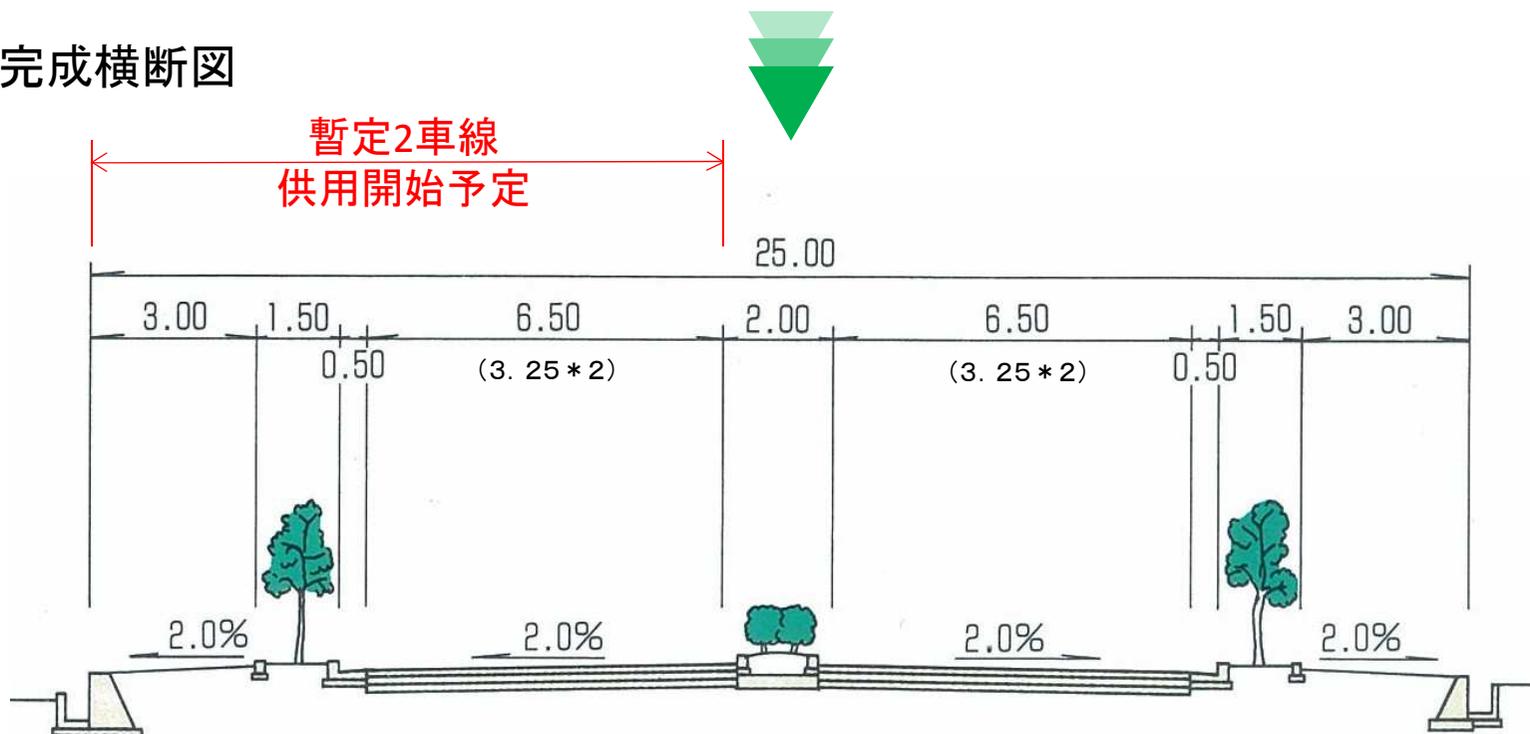
計画横断面図

社会資本整備総合交付金事業 主要地方道丸亀詫間豊浜線(多度津西工区)

現道の横断面図



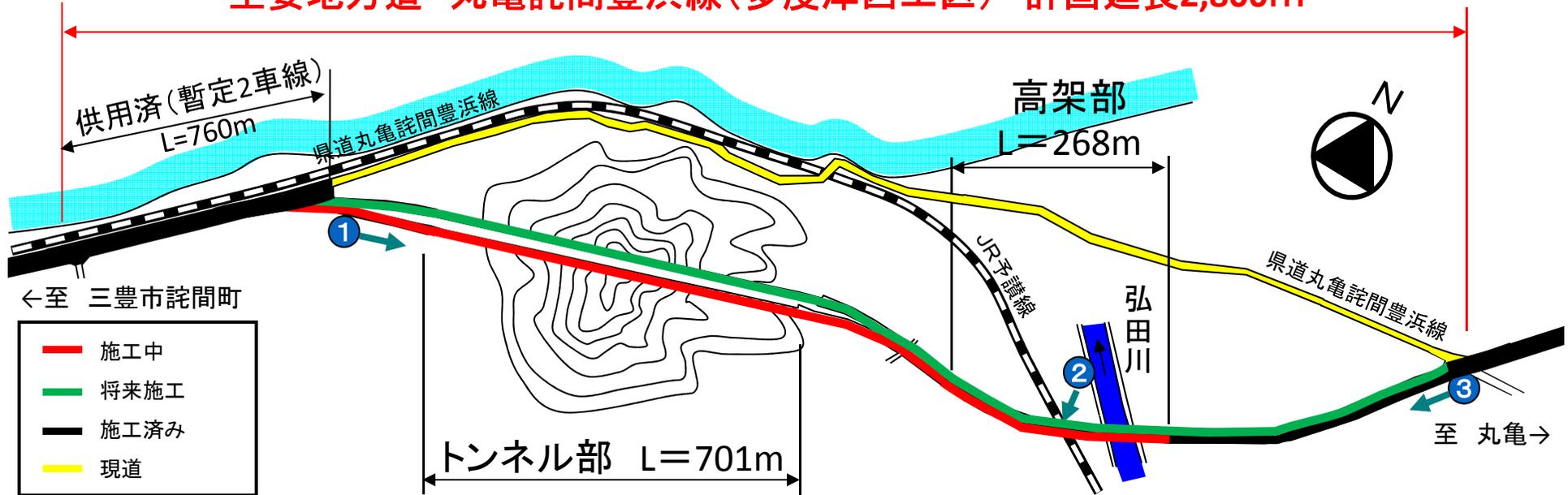
完成横断面図



平面図

社会資本整備総合交付金事業 主要地方道丸亀詫間豊浜線(多度津西工区)

主要地方道 丸亀詫間豊浜線(多度津西工区) 計画延長2,800m



対応方針(案)

社会資本整備総合交付金事業 主要地方道丸亀詫間豊浜線(多度津西工区)

1. 再評価の視点

①事業の必要性等に関する視点

1)事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・現道は2次輸送確保路線に指定されており、防災上重要な路線である。
- ・現道は大型車の通行量が多いにも関わらず車道幅員が狭く、線形不良箇所では慢性的に交通渋滞が発生している。
- ・現道は一部通学路にもなっているが、全線に渡り歩道幅員が非常に狭隘もしくは歩道が無く、交通安全上危険な状況である。

2)事業の投資効果

- ・費用便益費(B/C):1.7(平成21年再評価時点)

3)事業の進捗状況

- ・用地:全区間で完了
- ・工事:トンネル本体及びその前後の箇所以外は完成。
暫定2車線供用開始に向け平成30年10月からトンネル工事の契約を締結し、現在工事中。
工事費ベースで69%完了(平成30年度末時点)。

②事業進捗の見込みに関する視点

- ・用地買収はすべて完了している。
- ・現在残っているトンネル工事を推進しており、令和3年度末に暫定2車線で供用開始できる見込みである。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- ・トンネル掘削により発生した土砂を工事内や他工事で利用することなどにより、コスト縮減を図る。

2. 対応方針(案)

以上のことから、**事業を継続する。**